

誰もが心豊かに暮らせる社会の実現を目指して  
人権学習シリーズ⑪

◆ ◆ ◆ HIVを正しく理解しましょう ◆ ◆ ◆

HIVウイルス【ヒト免疫不全ウイルス】は、エイズ【後天性免疫不全症候群】を引き起こすウイルスで、2018年の調査によると、2017年はHIV感染者、エイズ患者を合わせて、1400件近く報告されていて、近年は横ばいの傾向が続いている。

1980年代に初めて症例が発見された当初は、治療法が見つからず「不治の病」と恐れられていきました。しかし、医学の進歩により、早期に発見し治療を受ければ、エイズの発症を抑え、他の人への感染リスクを低下させ、普通の生活を送ることができます。また、HIVの感染についても、日常生活の接触では感染しないことが分かっています。

このように、病気の治療法、対処法が発見されているにもかかわらず、現在でも病気の恐ろしさが人々の記憶に残り、誤解や偏見を生み、HIV感染者は就職の取り消しや医療機関での受診拒否といった人権侵害を受けてしまっています。

HIV感染者に対する偏見や差別を解消するためには、正しい知識を学ぶとともに、相手の人権を尊重する気持ちを持つことが大切です。この機会に、自分にできることを考えてみましょう。